

For the best future



株主の皆様へ

第104期中間

2012年4月1日～2012年9月30日

Thank you 便り

 山九株式会社

証券コード：9065

<http://www.sankyu.co.jp>

山九グループをより深く理解していただくために 株主の皆様からのよくあるご質問にお答えいたします。

? 当上半期の経営環境・業績について

当上半期(2012年4月1日から2012年9月30日まで)における世界経済は、欧州債務危機が深刻化したことによりユーロ圏全体で景気後退が進み、また米国の景況感にも陰りが見えはじめています。中国では内外需要が鈍化した上に景気減速の懸念が強まり、その他主要な新興国でも停滞感が強まりました。日本国内では、世界経済の減速と円高が生産や設備投資にも影響を及ぼし、景気回復は足踏み状態となりました。

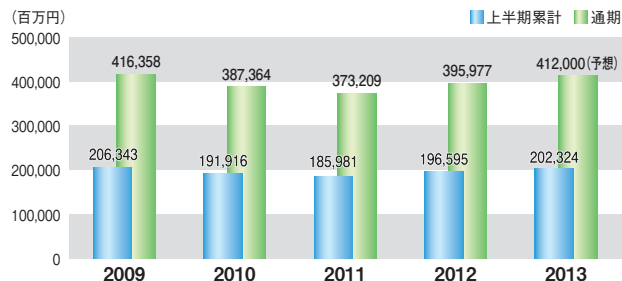
このような経営環境下、当社グループにおいては、物流事業は、港湾・国際物流では、コンテナの取扱量や倉庫の取扱貨物が減少し低調に推移しましたが、国際物流での売上高は増加しました。3PL・一般物流では、新規案件の開始による取扱量の増加はあるものの、



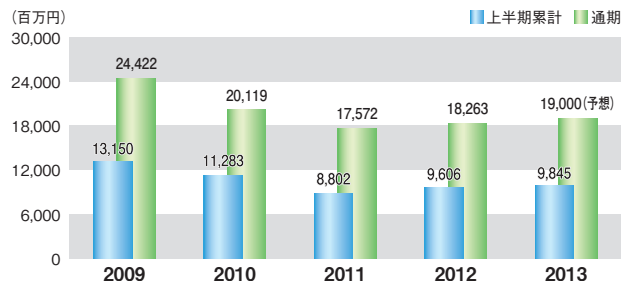
代表取締役社長 中村 公一

収益面では厳しい状況となっています。構内物流では、国内では概ね前年同期並みの作業量となりましたが、海外では円高の影響等を受け売上高は減少し、物流事業全体では減収・減益となりました。

売上高



経常利益





下期の見通しおよび通期業績について

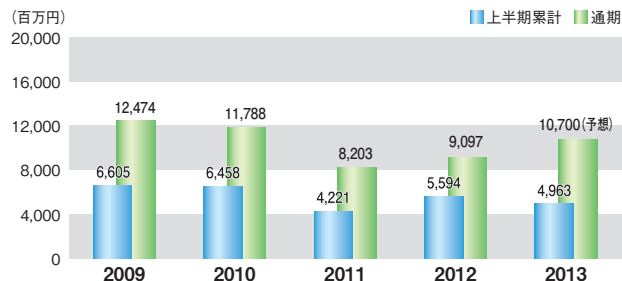
機工事業は、設備工事では国内においては、大型設備工事の完工等で工事量が増加、海外では中国現地法人の新規連結等により、国内外合わせて前年同期を上回る売上高となりました。保全作業では、お客様の設備を安定操業させるための需要が高く、工事量が増加し、機工事業全体では増収・増益を達成しています。

これらの結果、当上半期の売上高は2,023億24百万円と前年同期比2.9%の増収となりました。また、利益面では営業利益が99億4百万円と3.5%の増益、経常利益は98億45百万円と2.5%の増益となりましたが、純利益は有価証券評価損等の計上で49億63百万円と11.3%の減益となりました。

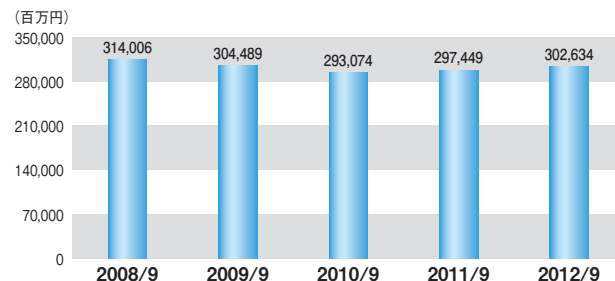
物流事業につきましては、海外景気の後退、チャイナリスクの顕在化、円高に伴う主要なおお客様の生産調整等に伴う取扱量の減少が懸念されますが、海外進出・移転に伴うプラント輸送のニーズは引き続き強く、また、コスト圧縮と効率化を目的とするサプライチェーンの見直しと物流アウトソーシングニーズも継続されると考えています。一方、機工事業につきましては、お客様の慎重な姿勢と受注環境の厳しさは変わらないものの、既存設備の安定稼働や高度化に向けた需要はあり、製造業の海外展開加速化に伴う現地設備工事と高度なメンテナンスのニーズが高まり、電力・エネルギー・環境関連の案件需要もあると考えています。

2013年3月期の連結業績につきましては、売上高4,120億円、営業利益192億円、経常利益190億円、当期純利益107億円を目指します。

純利益



総資産



4月

5月

6月

7月

8月

設備

海外現地法人移転

- ・ 広州山九物流有限公司
- ・ 山九ロジスティクスベトナム

お客様の様々なニーズに対応するグローバルネットワークの強化・拡充の一環として、広州山九物流有限公司、および山九ロジスティクスベトナムのハノイ事務所をそれぞれ新事務所に移転しました。

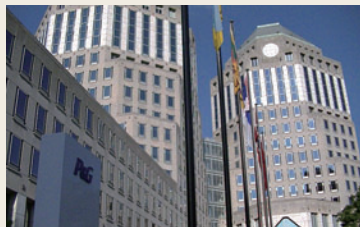
設備

福岡アイランドシティに 物流センターを計画

博多港全体の国際海上コンテナ貨物の約半数強を取り扱い、アジアのゲートウェイとして成長著しい「アイランドシティ」に、2014年4月の操業開始を目指し「山九アイランドシティセンター」（仮称）の建設を決定しました。この地区にコンテナ貨物を集約することで、3PLネットワーク機能の更なる強化を目指します。



「2012 P&G External Business Partner Excellence Award」を受賞



P&G社 USA本部



Excellence Award

当社グループは10月、Proctor & Gamble (P&G) 社より、「2012 P&G External Business Partner Excellence Award」を受賞しました。同賞は、P&Gの全世界におけるビジネスパートナー企業75,000社超の中から選出される大変名誉ある賞です。長年に渡る継続的なパートナーシップや業務内容が認められ、今年は73社が選出されるなか、当社グループも初めて選ばれました。

2012年東京国際包装展「TOKYO PACK 2012」に出展



出展者セミナーの様子



展示・デモブース

当社グループは、10月2日～5日までの4日間、東京ビッグサイトで行われた、2012年東京国際包装展「TOKYO PACK 2012」に出展しました。国内外から6万人が訪れるアジア最大の国際包装展において、「世界とつながる物流技術」をコンセプトに、当社グループを代表する物流センターや3PLの具体的な事例を紹介しました。

9月

10月

11月

12月

設備

山九インドネシア、新倉庫建設

●グローバル3PLの充実に向け

近年拡大するお客様の多様な国際物流に対応するため、山九インドネシアは、同国グリーンランド工業団地に新たに物流拠点を新設します。2014年1月の開設予定で、東南アジア地域におけるグローバル3PLの充実に貢献します。



山九インドネシアジャカルタ物流センターイメージ図

設備

平和島にロジスティクスセンター 新設を計画

●ジャストインタイム物流拠点を狙って

当社グループは更なる事業拡大のため、1972年より運営してきた平和島流通センターの拡大・新設を計画しています。2015年2月の竣工予定で、ニーズの多様化が見込まれる都市型ロジスティクスに対応する拠点として、お客様の最適物流をサポートいたします。



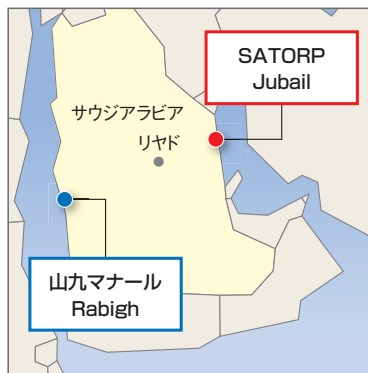
平和島ロジスティクスセンター(仮称)イメージ図

新規事業

サウジアラビアの製油所で一括日常保全業務受注

●海外での初受注の大型案件

当社グループは、サウジアラムコ社(サウジアラビア)とトタル社(フランス)の合併企業であるSATORP社からサウジアラビアのアルジュベールの製油所(日産40万バレル)における日常メンテナンスを受注しました。3PM事業を推進してきた当社グループにとって、日系以外の外国企業からの海外での大型日常保全の受注は初めてとなります。



山九グループを紹介

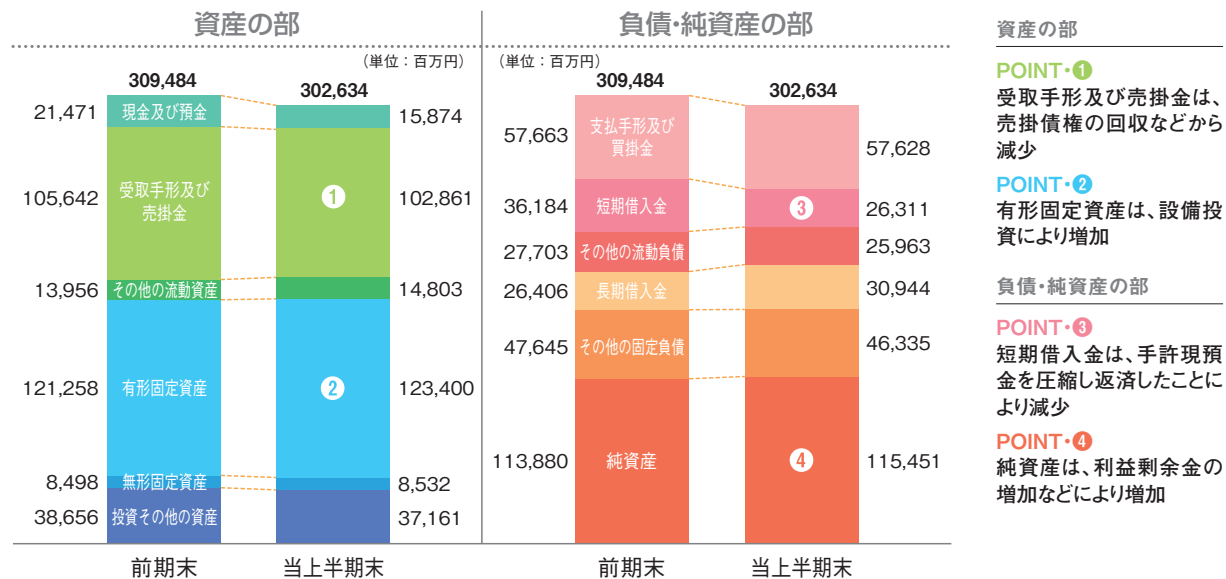


日経CNBCで、当社グループの海外戦略が取り上げられ、放送されました。

▶ <http://www.sankyu.co.jp/news/index.html>

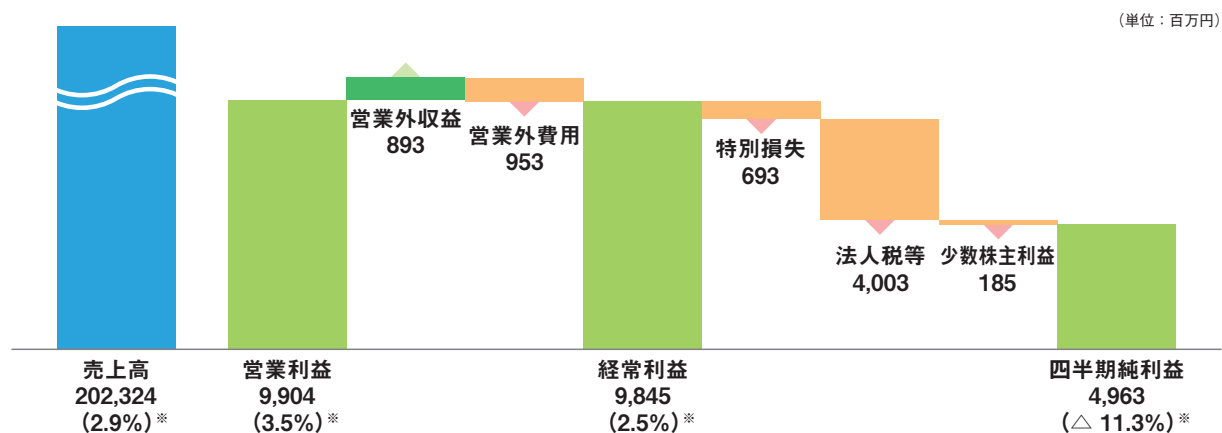
財政の状況

前期末：2012年3月31日
当上半期末：2012年9月30日



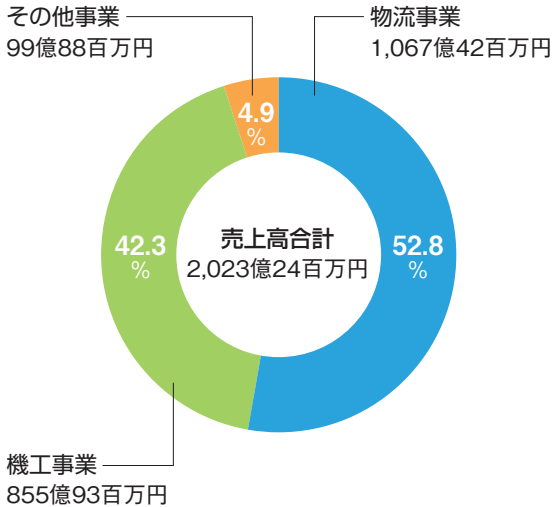
損益の状況

当上半期：2012年4月1日～2012年9月30日
※()内は前年同期比



セグメント別売上高比率

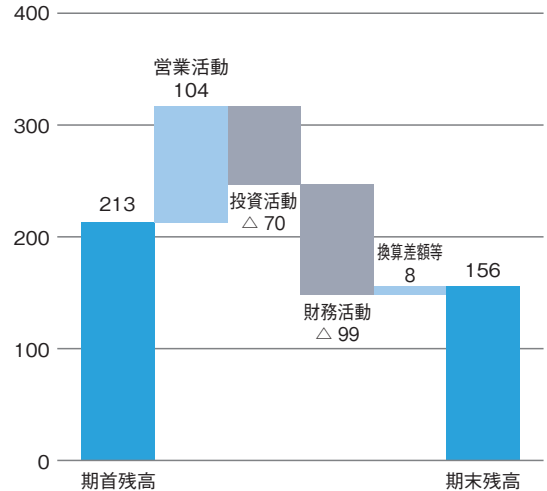
当上半期：2012年4月1日～2012年9月30日



キャッシュ・フローの状況

当上半期：2012年4月1日～2012年9月30日

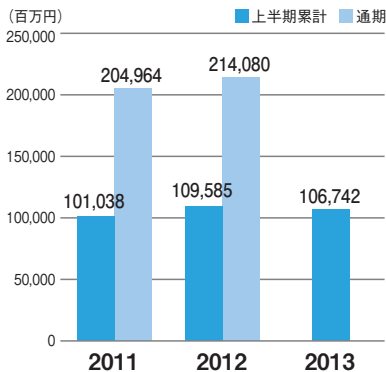
(単位：億円)



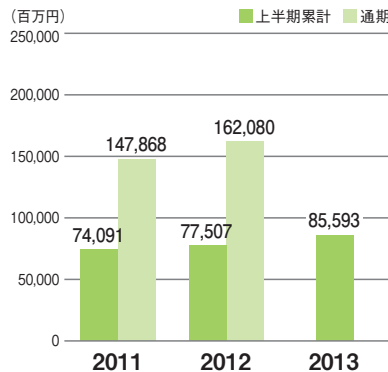
(注)金額については、一億円未満の端数を切り捨てて表示しております。

セグメント別売上高

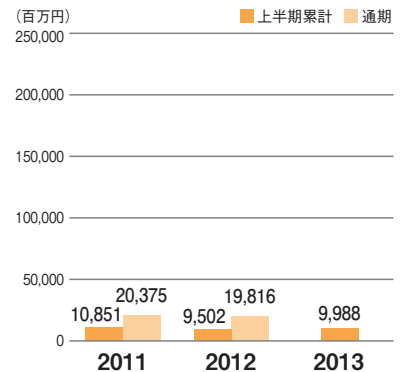
物流事業



機工事業



その他事業



(注)金額については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

コーポレートデータ (2012年9月30日現在)

会社名	山九株式会社
住所	〒104-0054 東京都中央区勝どき六丁目5番23号
資本金	28,619百万円
事業所	国内支店 39、海外駐在員事務所 1
関係会社	国内44、海外現地法人 39
従業員数	10,272名
お問合せ先	総務・CSR部 Tel.(03)3536-3939
IRホームページ	http://www.sankyu.co.jp/ir/

● IR関連のより詳しい情報については当社IRサイトをご覧ください。

株式データ (2012年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,000,000,000株
発行済株式総数	326,078,030株
株主数	18,105名
大株主	

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	29,604	9.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	26,181	8.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	16,945	5.19
新日本製鐵株式会社	14,400	4.41
財団法人ニビキ育英会	9,800	3.00
株式会社みずほコーポレート銀行	8,310	2.54
山九従業員持株会	6,186	1.89
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	6,110	1.87
明治安田生命保険相互会社	6,000	1.84
ジュニパー	5,909	1.81
合計	129,446	39.69

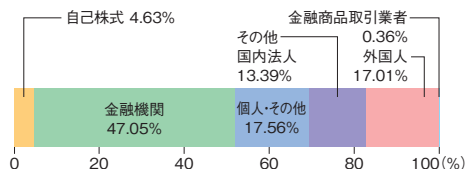
株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-7111 (通話料無料)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.sankyu.co.jp/koukoku/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

所有株式数別構成比率



1株当たり配当金 / 配当性向

